

SIAFラボ×北海道大学CoSTEP×札幌文化芸術交流センターSCARTS

孤島をまるごと楽器化する幻の作品《Island Eye Island Ear》(1974年-)を北海道で実現する共同プロジェクト



©2023 Google, CNES/Airbus, Maxar Technologies

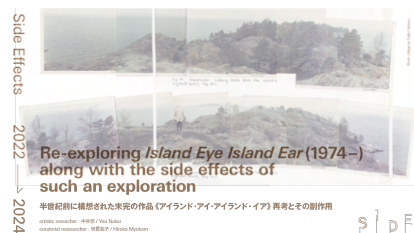
「Side Effects 2022-2024」

- 9月、北海道大学の国際サマースクール「Hokkaido Summer Institute (HSI)」において、SIAFラボと北海道大学CoSTEPによる講義を実施
- 11月、未完のコンサート計画《Island Eye Island Ear》を北海道・鷗島にてテストラン
- 11月27日に札幌市図書・情報館において、各地から関係者を招いて国際シンポジウムを開催
- 2024年2月、北海道大学VRシアターでテストランの記録映像などを用いた360度映像作品を公開

SIAFラボは、札幌国際芸術祭(SIAF)の傍らで、Art / Technology / Natureをテーマに実験的な活動を続けるプラットフォームです。2022年から、北海道大学科学技術コミュニケーション教育研究部門CoSTEP及び札幌文化芸術交流センターSCARTSと共同で、R&Dのためのネットワーク「S.I.D.E.」をスタートし、道外から中井悠、明貫紘子を迎えて「Side Effects 2022-2024」プロジェクトを立ち上げました。

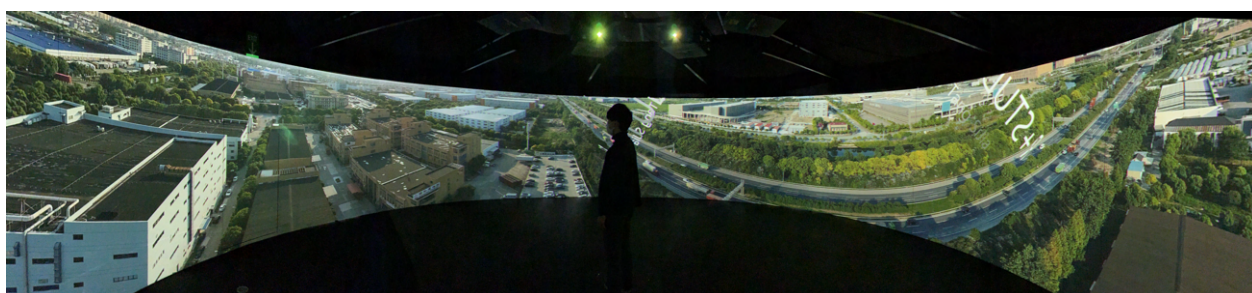
同プロジェクトでは、音楽家のデーヴィッド・チュードアが発案し、芸術家中谷芙二子、ジャクリーン・マティスらとともに「E.A.T.」(Experiments in Art and Technology)のサポートのもとで、1970年代半ばから取り組んだ、「孤島をまるごと楽器化する」未完のコンサート計画《Island Eye Island Ear》(以下:IEIE)の北海道における今日的な実現の可能性を探ると同時に、その過程で発生する副産物を回収しようと、芸術の領域にとどまらないリサーチを展開しています。

この度、2023年の活動として、11月に北海道・江差町の鷗島(かもめじま)にて、IEIEの構想の一部を試行する実験としてテストランを実施します。直後には、2024年にノルウェーでIEIEの実現を目指す国際アートフェスティバル「LIAF」(Lofoten International Art Festival)のディレクターらをゲストに迎え、IEIEの過去・現在・未来をめぐる国際シンポジウムを札幌市図書・情報館にて開催します。



また、北海道大学大学院工学研究院の協力のもと、テストランの様子などをアーカイブした映像・音声をを用いた360度VR作品を制作。札幌国際芸術祭2024(SIAF2024)会期中の2月17日(土)・18日(日)、北海道大学工学部に設置された、直径8メートルに及ぶ国内初の「フィールド科学体験VRシアター」において2日間限定で公開します。

詳細ウェブサイト:<https://siaflab.jp/news/p10446/>



画像提供: 北海道大学大学院工学研究院 資源マネージメント研究室



鷗島におけるリサーチの様子：夏



鷗島におけるリサーチの様子：冬

これらに先駆け、9月14日(木)・15日(金)・17日(日)の3日間、北海道大学の国際サマースクール「Hokkaido Summer Institute (HSI)」において、SIAFラボと北海道大学CoSTEPによる講義を実施します。「100年後の未来を考える」をテーマに、SIAFラボがこれまで取り組んできたリサーチや、「Side Effects 2022-2024」を元にしたレクチャー、ワークショップをおこないます。HSIの申し込みは終了しておりますが、聴講を受け付けています。北海道大学CoSTEPへのメールにてお問い合わせください。

詳細ウェブサイト：<https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/en/event/27590>

シンポジウム詳細

IEIE, Reflected: phase 3 / シンポジウム

なんぴとも孤島にあらず：クナーヴェルシェアから鷗島へ(1974-2024)

No Wo/Man Is an Island: From Knavelskär to Kamomejima (1974-2024)

アートとテクノロジーと自然が複雑に絡み合うチュードアたちの構想とその実現に向けたプロセスを、プロジェクトに携わってきた各時代、各地域の当事者がそれぞれの状況に位置付けられた立場から読み解き、その都度なにが目指され、行なわれ、そして残されたのかを検討します。そこから浮かび上がる過去と現在と未来の多層性は、作品の要素として島内に張り巡らされる複数のサウンドビームのように《IEIE》を多角的に照らし出し、ローカル／グローバルというおなじみの対立を乱反射させ、SIAF2024が「LAST SNOW」というテーマのもとに思い描く時間スケールの拡張にも複雑な共鳴をもたらすでしょう。孤島の楽器化を目指したプロジェクトの半世紀に及ぶ実現への努力から逆説的な副産物(side effect)として生み出されたのは、かつて17世紀の詩人ジョン・ダンが「どんな人間も孤島ではない」という一節に込めたような、時空を超えたコラボレーションの可能性なのです。

日時：2023年11月27日(月) 18:30開始予定(2時間程度) ＊入場無料

会場：札幌市図書・情報館 1Fサロン

〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ内

登壇者(予定)：

マリアンヌ・ハルトマン (Marianne Hultman, director of Lofoten

International Art Festival) (調整中)／中井悠／明貫紘子／SIAFラボ／他

言語：日英(逐次通訳を予定)

オンライン配信：未定



※申込情報は10月頃の公開を予定しております。

SIAFラボ・テストラン／シンポジウムに関するお問い合わせ

札幌国際芸術祭実行委員会事務局 担当：内潟・名塚

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目札幌時計台ビル10F

電話：011-211-2314 (平日8:45～17:15) Fax:011-218-5154 E-mail:press@siaf.jp

北海道大学HSI講義に関するお問い合わせ

北海道大学CoSTEP 担当：朴・奥本

E-mail: costep_office@ml.hokudai.ac.jp